



わたし
私にもできる
さ さ
支えあうまちづくり

こころ
心のバリアフリー かいていばん
ハンドブック [改訂版]

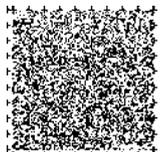


まち だ し
町 田 市

まち だ し ふく し すい しん きょう ぎ かい
町田市福祉のまちづくり推進協議会



けいたいよこ
携帯読み込みコード



まちへ出て行けるかしら？

みんなのまちには、いろいろな人が住んでいます。
 誰もがみんな自由にまちへ出て、人と会ったり、
 買物をしたり、仕事に就いたり、学校に行ったり、
 食事を楽しんだりしたいのです。

しかし、障がい者や高齢者が、
 まちへ出かけていくのは、まだ大変です。
 何が原因になっているのでしょうか？
 お互い支えあう生活はできるでしょうか？



案内や誘導はちゃんと
 しているかしら？

道は歩きやすいかしら

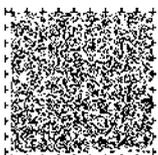


駅にエレベーターは
 あるかしら

使えるトイレが
 近くにあるか心配ね



困った時 解決できるか心配です



SPコード：文字情報を音声に変える2次元の情報コードを持ったシンボル(模様マーク)でこの
 パンフレットの右か左の下に印刷されています。専用の活字文書読取装置で音声に
 変換してください。



「こんにちは」とひと言あいさつ
できるようにしましょう。

みんなどこかで、
誰かと「共に支えあって」
生活しているのですから。

まちの中で困っている人を見かけても、
また、自分が困ったときにも、
なかなか「ひと声」*をかけることが
できないものです。

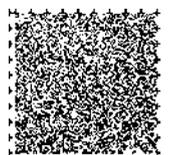
*聴覚障がい者には、後ろからの「ひと声」では気が
つきませんので、なるべくその人の正面から、
目を合わせて、表情がわかるように声をかけます。



困った様子の人を見かけたら、
「ひと声」かけましょう。
また、手助けが必要なときには
『愛のスカーフ』や『幸せのリボン』
といった目印をつけるという
方法もあります。



ひと声かけて、私も気持ちよかった



まちの中なかでいいんなんないいままどど困こららまます



乗れない!

ホームと車両しゃりょうの間にすき間まや段だんがあるとひとりひとりで乗り越こえられません。



進めない!

まちまちだだには坂道さかみちも多いので、手助けたすけは助かります。



バリアフリーバリアフリーになってもちょっとした配慮はいりよかんが感じられると、うれしいです。

届かない!

くるまくるまいいすすののあしあしののせせだいだいががおくおくまで入はいる券売機けんばいきがないと、切符きっぷをかうかうのに苦勞くろうします。

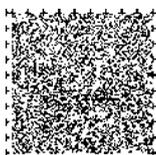


使えない!

かたかたままひひののひとひとや片手かたてが不自由ふじゆうな人は荷物にもつを持っていると、エレベーターのボタンボタンを押おすのが大変たいへんです。



近づけない!





つまづく!
こころ
転ぶ!
まよ

ほどうがなく、また誘導用ブ
ロックもない道を歩くの
は、大変です。



ぶつかる!

じてんしゃは、決められた場所
にとめてください。まして、
誘導用ブロックの上にとめ
られると、視覚障がい者には
危険です。

み
見えない!

しかくしょう
視覚障がい者は、席が空い
ているのかわかりませ
ん。

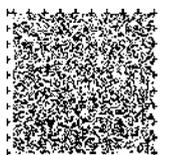


こうれいしゃ
高齢者や弱視の人には、小
さな字は読みにくいです。
大きな字や、読みやすい色
やデザインは、みんなにも
わかりやすいです。

よ
読めない!

き
聞こえない!

ちようかくしょう
聴覚障がい者には、車内放
送がわかりません。また、
駅などの窓口で切符を買う
のに苦労します。

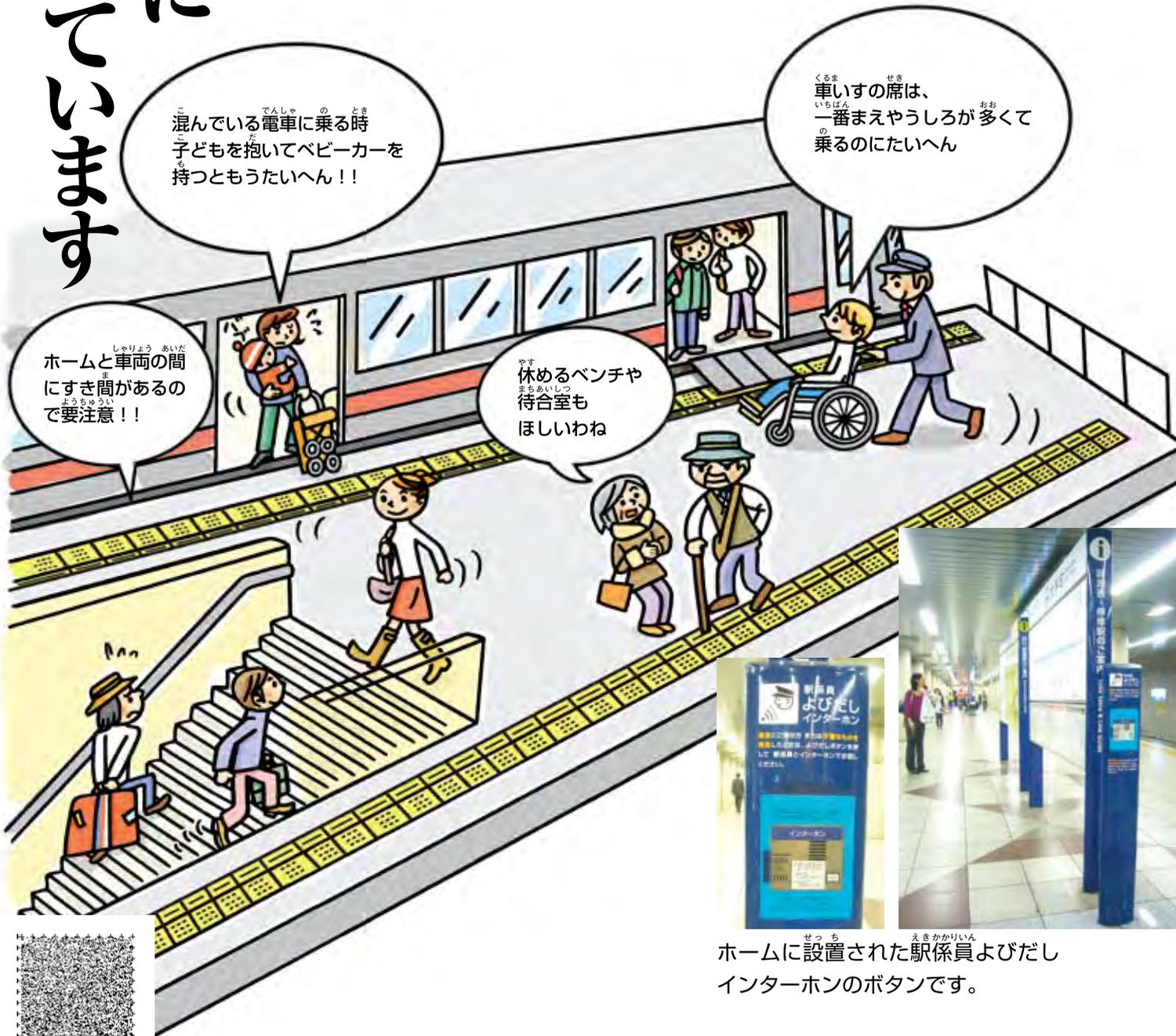


た と え ば 電 車 に 乗 る と き 困 っ て い ま す

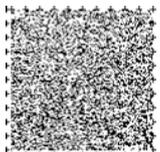
えき 駅ではエレベーター、くるまいすしやうしやたいおう車椅子使用者対応トイレやゆうどうよう誘導用ブロックなどのバリアフリー
せいびがすすみつつあります。しかしそれをつか使う時には、こま困っている人への
はいりよ配慮がほしいのです。



●えき駅のエレベーターはまもルールを守って
エレベーターは、ほんとう本当に必要としている人ひとにゆ
ずりましょう。(JRなる成瀬駅)



ホームに設置されたせつき駅係員よびだし
インターホンのボタンです。
えきかりいん



私たちにできることもあります！！



● **話を聞く**
声をかけられたら、ちよ
つと立ち止まって話を聞いて
あげてください。



● **気軽に手助け**
手助けをお願いしたら、快
く引き受けてください。介
助者でなく、本人と直接話
をしてください。



● **まわりの人に気配り**
エレベーターは、高齢者や
障がい者を優先しての、乗
り降りに配慮しましょう。

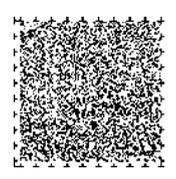
● **席をゆずりましょう**
優先席でなくても、立っ
ているのが大変そうな人がい
たら、寝たふりなどしないで、
席をゆずりましょう。



* マタニティマークをバッグにつけています
(P.15参照)



● **皆で手助け**
自分ひとりで手助けが難し
いときは、近くの人や職員
を呼びに行きましょう。



私たちにできることもあります！！



●声をかける

困っているときには声をかけてほしいものです。



●手助けが必要か伺う

白杖や盲導犬使用者が来られたら、声をかけて、どのような手助けが必要か伺います。



●商品の説明をする

直接さわれるものはさわって確認してもらいます。また、内容の説明が必要なものは、具体的にいていねいな説明をします。



●商品を取る手助け

視覚障がい者や車いす使用者は、手の届かない商品の買い物に困ります。ちょっと手にとってあげると、とても助かります。また、落としたものを拾うときも手助けが必要です。

